

【お知らせ】 林木育種センターでは、林木遺伝資源を試験研究用に種子、花粉、穂木、苗木などで配布しています。厳密に品種・系統が管理されており、皆様の研究材料として最適です。価格は1点あたり消費税込で3,349円です。詳しい内容や入手方法につきましては、本誌裏面に記載のホームページをご覧ください。メールまたは電話でお問い合わせください。

3 保存されている特徴ある林木遺伝資源

(1) スギの地域品種

スギは広域に分布していますが、その分布が不連続であるため、地域の気象条件や土地条件による自然淘汰や小さい分集団で生じる機会的浮動によって、互いに特性の異なる多くの地域品種が分化しています（勝田 証：スギ．（森林・林業百科事典．日本林業技術協会編、1234pp、丸善、東京）.534-536 .2001）。林木のジーンバンク事業では、スギの地域品種等約400点を保存しています。



写真 - 1 九州育種場に保存されているヤクスギ

(2) 北方系樹種

北海道育種場の遺伝資源保存園には、1960年代に進められた異郷土樹種適応試験のために導入された北方圏の外国産等の樹種が多く保存されています。特にモミ属、トウヒ属、カバノキ属は、樹種数、系統数も多く充実しており、国内外の研究者からの視察や材料提供の依頼も多く寄せられています。



写真 - 2 北海道育種場に保存されているカバノキ属樹種

(3) カラマツ

カラマツの天然分布の北限は、宮城県南蔵王の馬ノ神岳とされており、天然分布の中心地の長野県から約300kmも離れています。東北育種場内の遺伝資源保存園には、1976年に15個体から採穂し、つぎ木によって増殖されたクローンが現在122本保存されています。



写真 - 3 東北育種場に保存されている北限のカラマツ

(4) ケヤキ

ケヤキは、本州北端の青森県下北半島から九州の鹿児島県北部にかけて天然分布しています。センター本所、東北、関西及び九州育種場において、天然分布域を網羅する天然林、巨木・名木、天然記念物等のケヤキ遺伝資源が約400点保存されています。



写真 - 4 センター本所に保存されているケヤキ

(5) シイ属樹種

わが国には、シイ属樹種が2種1変種認められていますが、これらは暖温帯地域に広く分布し、カシ類などとともに照葉樹林を構成する重要な樹種です。センター本所及び関西育種場（本場及び四国増殖保存園）の遺伝資源保存園に天然分布域全域から収集された実生家系が保存されています。



写真 - 5 関西育種場に保存されているシイ属樹種